

140周年を迎えて

東京ガスグループは、2025年10月に創立140周年を迎えることができました。これはひとえに、日々現場で努力を重ねてくださっているグループ員とご家族、そしてお取引先や地域の皆さまをはじめとするステークホルダーの皆さまのご支援があってこそだと思っております。心より感謝申し上げます。

1885年、創業者の渋沢栄一は「東京の街を明るく照らしたい」という強い思いのもと、文明開化の象徴であるガス灯事業を立ち上げました。これが当社グループの第1の創業です。

高度経済成長期には、公害問題に真摯に取り組み、「東京に青い空を」との願いのもと、社運をかけて世界に先駆けてLNGを本格導入しました。これは第2の創業とも言える挑戦であり、受入基地や環状幹線の整備、そして一件一件のお客さまのガス器具を調整・交換する熱量変更作業など、前例のない取り組みを成し遂げてきました。

その中で、私たちは時代の変化や社会のニーズに応え、厨房機器や空調、工場の熱源、地域冷暖房、ガスコージェネレーションシステムなど、LNG・都市ガスの用途拡大、高度利用に挑戦し、暮らしや産業を支えてまいりました。

私が経営の指針としているのは、創業者・渋沢栄一の『論語と算盤』に代表される思想です。今でいえば「論語」は社会的使命、「算盤」は経済合理性を意味します。この二つの両立こそが私の信条であり、企業として事業を進める上での基盤です。

渋沢栄一の思想は、当社グループの経営理念である「人によりそい、社会をささえ、未来をつむぐエネルギーになる。」にも反映されており、「未来をつむぐエネルギーになる」という一節には、社会課題の解決に貢献することと、未来を先取りしたビジネスモデルを確立し、持続的に成長することの両立を目指すという強い思いを込めています。

これまで長く、首都圏のエネルギー事業を展開してきた当社グループですが、お客さまが求めているのは、エネルギーの供給だけでなく、暖かさや快適さといった「効用」であり、それをいかに実現するかが私たちの使命です。だからこそ、お客さまの課題の本質

を捉え、その解決につながる価値をどう届けていくかが、これからの当社グループの役割だと私は考えています。

現在、私たちは『持続可能な社会を実現』すべく「第3の創業期」という新たな転換点に立っています。140周年を迎えるにあたり策定した共通コンセプト「Beyond／越えていく」は、従来の枠組みを越えて、新しい価値を生み出し続けるという強い決意を表しています。

エネルギー・ソリューション分野では、ガス事業で培った地域密着型の営業体制に加え、デジタル技術やAIを融合した新たなマーケティング手法を取り入れています。これにより、電力事業の推進やソリューションの提供、さらには供給エリアを越えた事業展開を加速させています。さらに、これまでに磨き上げてきた高いオペレーション能力を活かし、お客さまや地域社会の課題解決に貢献するソリューションを展開するため、新事業ブランド「IGNITURE」を立ち上げました。「脱炭素」「最適化」「レジリエンス」など、社会的課題への対応を通じて、持続可能な未来の実現を目指します。

また、ガス事業で築いた資産を活用し、電力事業や北米シェール事業などの海外事業とも連携を図りながら、トレーディングの高度化を進め、多様な事業の着実な展開を推進していきます。

当社グループの原動力は、一人ひとりのグループ員の力にあります。長年にわたるステークホルダーの皆さまからの信頼を礎に、エネルギーの安定供給とカーボンニュートラル社会の実現を目指し、140年にわたる歴史の中で築き上げた顧客基盤と、有形・無形の資産を最大限に活用し、新たなソリューションの提供に取り組んでいます。さらに、デジタル技術の活用による事業の高度化を通じて、次世代社会を支える価値の創出に挑戦し続けてまいります。

これからも「東京を越え、ガスを越えて」、グループ全体で一体となり、変化する社会の中でお客さまや地域の期待に応える価値を創造していきます。引き続き互いに支え合い、さらなる飛躍に向けて歩んでまいりましょう。



取締役 代表執行役社長 CEO

逢山晋一